

親子で参加しませんか

深堀地区コミュニティ協議会では健康ウォークも開催しています。

令和5年10月8日(日)「深堀さるく」深堀の歴史を学び、小学児童から高齢者まで参加できます。
令和5年11月26日(日)「八郎岳登山」小学2～3年生から足腰に自身のある高齢者まで参加可能。
令和6年3月10日(日)「城山登山」城山の歴史を学びながら登ります。小学2～3年から健脚の高齢者まで。
申込は深堀地区ふれあいセンターまで(各コース1ヶ月前から1週間前まで受け付けます) 電話 871-2387
親子で共通の汗を流しませんか、お待ちしております。

単身高齢者「食事会のお誘い」



社協深堀支部では、1人暮らしの65歳以上の方を対象に、毎月食事会を開催しています。
婦人クラブのボランティアと、民生児童委員の協力を頂きながら、毎回季節の食材を使ったおいしい食事、参加した皆さんに好評です。
該当する皆さんはぜひ参加して頂き、おしゃべりやお友達作りをしませんか。
特に男性の皆さんにとっては、孤食より心のこもった手作りの食事を、一緒に食べてほしいと願っています。



深堀地区では、三カ所でサロンを開催していますので参加しませんか。
どの会場にも参加できますので、あらかじめ一度訪ねて、次回からの参加をする方がいいと思います。
県営C棟集会所 毎月一回開催しています。(長崎市社協委託サロン)
県営AB集会所 毎週一回開催しています。(長崎市委託サロン)
ふれあいセンター 月二回(第一・第三)水(深堀コミュニティ主催)
どの会場も参加することができますので、仲間づくりをしませんか。
町内では、一人暮らしの方や高齢者の日常の安否確認や、災害時の避難のお手伝いの仕組み作りなど、住みやすいまちづくりを進めています。
いろんな事情で自治会から離れる方もいますが、やんわりと近所付き合いができる環境が、これからの長寿社会では一番必要なことではないかと感じています。

高齢者サロンに参加しませんか

一月と八月を除く各月の(第二金) 育児教室を開催しています。
育児中の皆さんは参加してみたいかと思いますが、主任児童委員が民生・児童委員の皆さんと協力しながら毎回楽しいお遊び教室を開催しています。
場 所 県営C棟集会所
対 象 未就学児童まで
申 込 不要、当日どなたでも
時 間 十時～十一時三十分

育児教室を開催しています



地域情報紙
第16号

ふかほり

発行 深堀地区コミュニティ協議会
所在 深堀地区ふれあいセンター内
長崎市深堀町5丁目182番地
電話 871-2387 fax兼用
令和5年6月 発行

町内各団体の新年度活動がスタート

町内の各種団体に於いては、総会を経て、役員交代や新年度の活動計画も承認され、三年間のコロナ禍の自粛から解放される年です。
深堀地区コミュニティ協議会では、町内の異世代が交流する機会を増やそうと、多くのイベントを計画しています。
友達作りや、ふるさと深堀を再認識する上からも、何か一つでも参加してみてもいいのではないでしょうか。



今年の事業実施計画

- 七月～八月 フォトコンテスト(あなたの自慢の街角風景)
- 七月三十日 夏休みサマースクール(小学中高学年向け学習)
- 十月八日 健康ウォーク(歴史を学ぼう深堀さるく)
- 十月二十二日 深堀地区敬老祝賀会(場所 深堀体育館)
- 十一月十八日 深堀ふれあい祭り(ふれあいセンター館内展示)
- 十一月十九日 深堀ふれあい祭り(広場販売・館内舞台発表)
- 十一月二十六日 健康ウォーク(八郎岳登山) 健康に自信のある方
- 十二月三日 深堀地区防災訓練(全町内合同訓練です)
- 十二月八日 深堀地区二十歳のつどい(場所 深堀体育館)
- 二月二十五日 深堀城下ひな祭り(三月三日まで場所 睦館他)
- 三月十日 健康ウォーク(城山の歴史を訪ねて) 健脚登山



令和五年春の叙勲に深堀からも晴れて二名が受賞されました

受賞おめでとうございます
長年に亘る献身的な奉仕活動に感謝します



更生保護功勞 瑞宝双光章 大野 幹雄 氏
消防功勞 瑞宝単光章 西 勝則 氏

深堀地域内のあなたの自慢の街角写真を募集します

募集期間 令和5年7月1日～令和5年8月31日まで(詳しくは町内回覧か掲示板で確認ください)
応募要領 一眼レンズ・デジカメ・スマホ(横向き)で撮影しデータで提供
(古写真などについては写真応募も可、後日返還します)
応募先 深堀ふれあいセンターへメール又はSDカード・USBメモリー・CD-R持参
ふれあいセンターメールアドレス(fukahorik@mx.cncm.ne.jp) 入選14作品には各賞あり
いずれの場合も住所、氏名、連絡先を明記の事(不明な点は電話で) 電話 871-2387
写真の使用については深堀ふるさとカレンダーに自由に掲載できることとします。

自治会に加入しましょう

自治会に加入して何かメリットがあるのか、などとよく耳にします。

確かに、直接的に個人の得になるものではないかもしれませんが、自治会はこんなことをしています。

「住環境の整備」では

皆さんが生活するエリアの街灯の設置、手すりの設置や道路の破損修復などの行政への要望や、ゴミステーションの維持管理等、少し気を付けて頂ければ、多くの事が自治会を介して行われています。

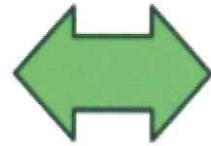
特に、これからの災害発生が増える時期には、側溝の整備や河川の改修工事、避難所の運営など数えきれないほど、私たちが生活する中で、必要不可欠な問題をお世話しているのが自治会です。

「福祉活動」では

敬老祝賀会や二十歳の集い（成人式）をはじめ、精霊流しの会場申請から管理まで、住みやすい町内環境の整備を行政と協議をしながら進めているのが自治会です。



地域



行政

この他にも、深堀体育館や貝塚遺跡資料館、深堀ふれあいセンターなどの管理業務も、自治会が中心になりながら行っています。

お互い、縁あって同じ町内に生活する者どうし、少し手を取り合う環境を作ることができれば、温かみのある近所付き合いもでき、安心安全な町内になると思っています。

「自治会未加入の皆さんあなたの加入をお待ちしています」

深堀ペーロン万歳



審判船を挟み開会式



深堀神社で必勝祈願

主役の選手の皆さんはもちろんの事ですが、運営から進行迄お世話いただいたスタッフの皆さんはじめ、会場へ応援に出かけて下さった多くの皆さんの、支えがあつての成功です。町内に久しぶりの元氣と活気を創ってくれた大会関係者の皆さんに、感謝します。

三年間の自粛期間を経ての再開に、各地区の選手確保や協会関係者のスタッフにとってはその苦勞の程が偲ばれます。毎年開催されていたものが突然三年間のブランクを経て開催することになり、何もかもが今までと勝手が違い大変な思いであつた事でしょう。大会当日は天候にも恵まれ久しぶりのペーロン大会に、会場には多くの観客が集まり大盛會でした。

深堀ペーロン大会が開催されました

四年ぶりに深堀地区ペーロン大会が開催されました。六月十一日、待ち焦がれていたペーロン大会が、多くの観客を集め盛大に開催されました。

安心安全な深堀づくりにあなたの協力が必要です。

高齢者や子どもたちを住民同士の協力で見守りましょう。

児童の、登下校の時間に合わせて、ウォーキングや買い物などすることで、通学路に多くの目を向けることができ、児童の安心安全に大きく役立ちます。また、深堀ではお隣同士で、高齢者の見守りを近所付き合いの延長で行うことで、負担のない見守り活動を推進しています。

これから豪雨や、台風など高齢者、特に一人暮らしの方にとっては、不安の募る時期でもあります。お互い隣同士が、一声かけてあげること、相談のきっかけにもつながると思います。

相談しやすい環境や、声をかけやすい環境を作る事が今の高齢化社会にとっては、住み慣れた自宅で一日でも長く生活できる一助となるものと思います。行政や社会保障で足りない部分を、住民同士の少しの心配りで、住みやすい深堀にするために皆さんの協力が必要です。



集団検診を積極的に受診しましょう

企業で働いているときは定期的に検診があります。が、退職すると健康診断を受ける機会も減少することから心掛けて長崎市の巡回健康診断を受けましょう。

被爆者定期健康診断のお知らせ

場所 深堀ふれあいセンター三階
期日 令和五年七月二十日(木)二十一日(金)の二日間
時間 二日間とも十三時三十分〜十五時三十分迄
持参 被爆者健康手帳・第一種・第二種健康診断受診者証
案内ハガキ



案内ハガキ

災害時の避難所案内と用意するもの

町内の避難所は、ふれあいセンター・深堀体育館・中学校体育館の3カ所です。

災害時3カ所とも開設するとは限らないので必ず確認をして下さい。冷暖房はふれあいセンターのみ。

避難にあたって用意するもの

- ◎常用の薬がある人は3日分位の用意とタオルケット等を用意
 - ◎各自マスクとタオルなどを用意してください(手指消毒は備えを利用可)
 - ◎腰痛などで敷物やあて物など必要な方は、ご自身で用意してください。
 - ◎食事は2食分くらいと日持ちのするパンか駄菓子類とお茶を用意。
- 避難所は専用施設ではありませんので、皆さんの協力が何より大切です。スタッフは避難者全員を公平に受け入れますのでご協力をお願いします。



一次避難所

避難はひどくなる前の明るいうちに余裕をもって行うようにして下さい。火の始末と戸締りを確認して、お隣さんへ一声かけて避難しましょう。問合せ 電話 深堀ふれあいセンター 871-2387 ・深堀地域センター 871-3101 一人での避難が困難の時は遠慮せず自治会長や民生委員へ相談。(日頃の電球交換や電池の入れ替えなども気軽に相談して下さい)

